

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
大在・岡地区 「第1期分」

平成26年3月

大分県大分市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	従業者数	人	11,800	13,300	12,394	確定 見込み ●	△	あり なし ●	11,509	H26年3月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	景気の悪化等により目標達成には至らなかったものの、企業の事業環境の魅力向上に資する事業を行うことにより、目標の達成が期待される。(第2期)
指標2	居住者数	人	21,000	21,500	25,081	確定 見込み ●	○	あり なし	24,845	H24年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ハード整備に加え、住民参加のまちづくり活動等を進めてきたことにより、地域の魅力が向上し、居住者数は増加した。
指標3	志村迫線志村交差点の渋滞長	m	580	200	700	確定 ● 見込み	×	あり なし ●				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	工場の操業開始等の影響により従前地より増加する結果となったが、岡臨海線の全線開通に伴い、目標の達成が期待される。(第2期)
指標4	「コスモスふれあい広場」事業の参加者数	人	1,000	2,000	2,017	確定 見込み ●	○	あり なし	2,288	H24年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	花いっぱい運動やワークショップなどを通じて、住民同士の親交が深まり、参加者数が増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	なし				確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2	なし				確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3	なし				確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	公園の整備	地域の魅力向上に資する公園整備を行った。	災害時に避難場所ともなる公園整備により、安全・快適なまちづくりが進んだ。	公園整備を進める。
	路上駐輪防止に向けた継続的取組み	自転車の利用ルール・マナーアップの普及啓発活動を行った。	地区住民のルール・マナーアップの意識が高まり、大在駅周辺の路上駐輪が解消した。	大在駅周辺における自転車利用ルール・マナー啓発活動の継続的な実施に努める。
	地域の魅力創出に向けた活動環境の整備	公民館(育苗センター)や大分市ご近所の底力再生事業などによる支援を行った。	花いっぱい運動や地域イベントの継続した実施により、地域住民のまちづくり活動への参加意識が高まった。	事業で醸成された連帯感やまちづくり活動への参加意識を持続、展開させるために、引き続き活動の継続実施および拡充を行う。
	整備された公園や歩道における地域住民と協働した維持管理	新たに発足した公園愛護会による清掃や地元住民による緑化活動を行った。	地元からの自発的な活動による花や緑の創出とともに、住民同士の親交を深め、積極的にまちづくり活動に参加する意識の向上が図られた。	地域住民との持続的な維持管理体制の構築に向けた支援の継続実施を行う。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	志村迫線志村交差点における渋滞緩和	都市計画道路岡臨海線の道路整備の推進	第1期計画で供用開始が出来ておらず、現時点における成果はなし。	都市再生整備計画(第2期)の着実な実施に努める。
	市道における安全性の向上	事故の危険性が高い区間において、市道改良を行った。	自動車交通の隘路となっていた箇所在市道改良により、安全・円滑な交通環境が改善した。	まだ市道改良が求められる箇所が残されており、地元との協議を踏まえ、今後の事業化を検討する。
	津波に対する防災性の向上	海拔表示板の設置および津波避難ビルの指定	地域住民の防災意識が高まり、津波に対する避難場所の周知ができた。	引き続き、住民の防災意識向上に努める。
	自転車利用の促進	自転車利用促進調査を行い、自転車走行空間ネットワーク整備計画を作成し、計画の実現に向け住民説明会を開催した。	地域住民との整備の方向性に対する共有化が図られ、合わせて自転車の利用ルール、マナー向上の意識が高まった。	自転車マナーアップ事業モデル校を選出し、自転車の利用ルールやマナー向上のソフト施策の継続的実施を行っていく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			